

### 120名で公民協働作業

日野自動車株式会社日野工業高等学園のみなさんは、南平丘陵公園の整備や浅川の七生中のワンドの除草作業を毎年7月に1日ボランティアで行っていただいています。

今年も、当初は南平丘陵公園、浅川の牛淵（七生中ワンド）と二手に分かれて作業予定でしたが、作業直前から小雨模様になったため、牛淵（七生中ワンド）での作業は中止し、南平丘陵公園の園路整備を全員で行うことになりました。

南平丘陵公園の園路は、土壌の侵食が進み階段など歩きにくい場所がかなり増えてきたため、碎石を敷き整備することにしました。

作業は、市職員、南平丘陵公園でボランティア作業をいただいた「南丘陵雑木林を愛する会」のみなさん、常駐管理していただいているシルバー人材センターの会員の方々の総勢120名の協働作業で行いました。

### 公園紹介

## 南平丘陵公園

所在 日野市南平8-8-3  
交通 京王線南平駅下車 徒歩6分

多摩動物公園北側、都立南平高校東側に位置し、高低差は約60mにもおよび、起伏に富み、自然の緑に恵まれた公園です。

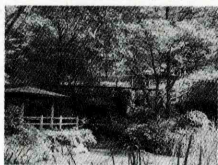
尾根や展望台からは市内や立川府中方面が望めます。

この公園は、“人と森”を基本テーマに造られた公園で、保全緑地ゾーン、レクリエーションゾーン、つり橋や池および流れの水辺ゾーンの3つに分かれ、そぞろ歩きや自然探索、運動まで様々な楽しみ方ができます。

築造後20年以上過ぎ、公園内の園路も、降雨による土砂の流出など年月を感じますが、築造当時からのコンセプトは今も変わりません。

公園の管理棟周辺は、平成15年度から3年間の萌芽更新作業により、明るい雑木林の再生を図ってきました。

環境情報センターが主催する「雑木林ボランティア養成講座」はこの南平丘陵公園を会場に今年で6回目を数え、この講座を終了した方々を中心に市内の緑地を管理するボランティア団体が生まれています。(M・H)



ひょうたん池



バケツリレーで碎石を運び階段補修しました



滑りやすい坂道に丸太で階段を作りました



作業の様子

整備する予定箇所の全部は完了しませんが、生活路としても使用されているひょうたん池側から南平台住宅に抜ける階段、尾根部分の園路で土砂が流れている部分については作業が完了し、歩きやすく、改善されました。(M・H)

### 滝合小芝生化紹介

滝合小学校の校庭に芝生を張りました。この工事は東京都公立小中学校運動場芝生化補助事業で行ないました。日野市立の小学校では平成20年に施工した東光寺小学校に続いて2校目となります。

面積は3,936㎡で、東光寺小学校の約2倍(東光寺小学校は2,142㎡)の面積があり、今回は走路も芝生化しています(ターゲットコース↓芝コースって感じですか)。東光寺小学校は夏芝と冬芝を張りましたが、今回は夏芝のみの工事となります。さて、ここで「夏芝」「冬芝」というあまり聞き慣れない言葉がでてきましたが(そうでもないか?)説明すると、

夏芝↓(暖地型)冬は枯れますが、根は越冬するので春になるとまた緑になります。日本芝・西洋芝があります。  
冬芝↓(寒地型)冬枯はしないけど、夏の暑さには耐えられません。レジャーシートとか敷きっぱなしに(数時間程度でも)すると蒸れて枯れます。西洋芝です。

とかはこの方法が多いです。正式名称WOS(ウインターオーバーシーディング)といい、開発したのはJRAで、なんでもジャパンカップ(晩秋に行う国際招待レース)の時に来日した関係者が「ハイ!この芝は枯れてるぜ!」と驚いたことに逆に驚いたJRAが一念発起して開発したそうです。同じ場所に二種類の芝をどーやって植えるの?と思われた方もいると思います。実は夏芝と冬芝は施工方法も違います。夏芝は板状ロール状で売られている場合が多く、じゅうたんのように敷き詰めますが、冬芝は種を蒔く場合が多いです。なので、両方の芝を同じ場所に施工できるのです。

ちなみに今回の芝は茨城県(つくば市)産ですが、生産量は全国1位で全体の50%を超える芝を生産しています。異常に熱い今年の夏は水をとっても使用しましたが、井戸掘りも無事完成し、なんとか乗り越えられました。

とてもきれいに仕上がっていますのでぜひ見に来てほしいのですが、学校は関係者以外立入禁止なので、浅川の堤防からお願いします。(M) (☆)

